

令和2年度 つたえる、感じる、  
つながる  
森林×SDGsプロジェクト  
▶ 未来予想図ワークショップ  
実施方針（案）

2020年9月

株式会社 かいはずマネジメント・コンサルティング

一般社団法人 森と未来

# 「2050年の未来予想図」ワークショップ

## 【目的・概要】

- 未来の社会の中核を担う**中学生・高校生**に、森林と自分たちの暮らしの関わりを「自分ゴト」化し、森林に対する理解・関心を高めてもらう
- 開催地：**長野県根羽村、山梨県北杜市、静岡県掛川市、福岡県篠栗町と交渉中**
- 対象人数：1回 20-30人程度 全国5ヶ所程度で開催予定。

## 【ご相談事項】

- ① **ワークショップ開催させていただきそうな学校や団体の紹介**
  - 新型コロナによる休校や、集団活動自粛の影響で、ワークショップ受け入れ先探しに難航中。
  - 学校の授業時間内だけでなく、課外活動や自然活動団体、公設民営塾なども視野。
  - 都会の学生にも「森のめぐみ」を考えていただくことを狙い、都市部での開催も希望。
- ② **ワークショップ実施成果の効果的な発信方法について、アイデアや関係先メディアの紹介**
  - 中学・高校教師等に対し、総合的な学習/探求の時間のコンテンツになるというアピールを行う際に、効果的な方法・メディアを紹介願います。

# 「2050年の未来予想図」 ワークショッププログラム

テーマ	内容・ねらい	時間
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の現状や、SDGsに関するクイズを出題。学生の考えるベースを整備。</li> </ul>	
イントロ (レクチャー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズの答え合わせ</li> <li>森林サービス産業をはじめ、森との新たな関わり方を紹介。</li> <li>森林のSDGsへの貢献を紹介。</li> </ul>	30分
ワーク① 森のめぐみ (グループ内で共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が大切にしたい「森のめぐみ」を考える。</li> <li>「森のめぐみ」が感じられる場所を、<b>地図にプロット</b></li> <li>なぜ大切にしたいと思ったのか、体験を踏まえながら発表。</li> </ul>	30分
ワーク② 30年後の未来予想 (グループ内で共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年後の未来予想図</li> <li>大切にしたい「森のめぐみ」の2050年の姿を考える。さらに理想像を描く。<b>地図に付箋でプロット</b></li> <li>理想の未来を創るために、自分ができること、他者に協力いただくことを発表。</li> </ul>	30分
ワーク③ わたし×森林： めぐみへの感謝レター	<ul style="list-style-type: none"> <li>「森のめぐみ」宛の手紙をしたためる。思い出、自分のできることなど</li> </ul>	30分
<b>休憩</b>		30分
発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>各班の代表者が、手紙を読み上げる。</li> <li>招待した自治体関係者、林業関係者等に聞いてもらい、意見交換。講評。</li> <li>他の開催地域の参加者へ向けたメッセージ動画を撮影。</li> </ul>	60分
		210分

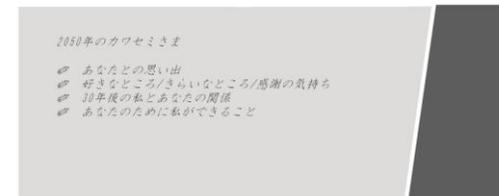
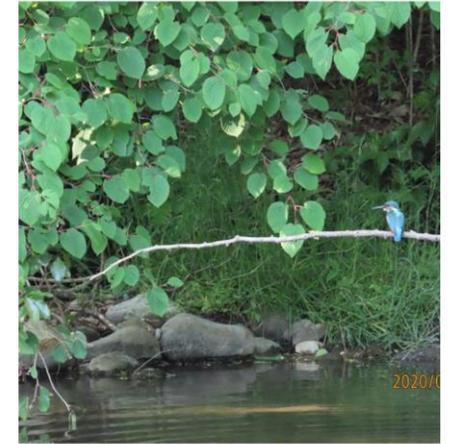
# 学生の言葉によるリアルな発信 ～フォレスト・バトン・パス～



# 成果物・発信

ワークショップの内容や成果物は、学生のアイデア、受け入れ地域のニーズに照らし、開催地ごとに異なる可能性もある。

フォレスト・バトン・パス 成果物	発信
他の地域の学生に向けたビデオメッセージ	You Tubeで発信（参加校でのリレー形式）
「森のめぐみ」の写真+手紙を載せたデジタルブック （検討中）	Issuuなどのオンラインカタログサービスで公開 リンク共有することで、誰でも閲覧可。
写真のコラージュ（モザイク画）	（検討中）
実施レポート	開催地域のローカルメディアの取材依頼 地域の観光協会、森林組合など地元関係者のメディアによる発信 森づくりフォーラムメーリングリストでの発信



デジタルブックイメージ

事業成果物	内容
ワークショップ実施マニュアル	森林環境学習の一環として、総合的な学習の時間等に教員などが実施するためのノウハウを掲載。

# ワークショップ実施マニュアル構成案

	コンテンツ	内容のポイント
1. ワークショップ概要	未来予想図作成ワークショップとは	未来予想図作成ワークショップの趣旨
	フォレスト・バトン・パスとは	フォレスト・バトン・パスの趣旨、仕組みの説明
	基本プログラム構成	プログラム構成の趣旨、ねらいなど。事前学習含む。
	評価方針	総合的な学習/探求の時間内で行う場合の評価方針
	実施者	学校主導/学生主導
	対象者	中・高校生
	場所	学校の教室/フィールドワークを含む場合
2. 実施要領	協力機関	自治体、国立自然教育施設、公設民営塾、地域おこし協力隊、大学、森林組合、NPOなど、協働形態ごとの工夫
	準備	必要物品、広報、協力機関や父兄との調整
	当日の進行	タイムスケジュール、ファシリテーションのこつ、SDGsとの結び付け方
	成果発信：フォレスト・バトンのまわし方	動画作成とYouTubeへの投稿方法
	実施後フォロー	継続的な活動支援方法、オンラインリテラシー
3. 事例紹介	実施にあたっての留意点	学生の自主的な活動を促す工夫、对外発信心得など
	事例紹介	モデル地域5ヶ所で実施したワークショップの事例